

上越ケーブルビジョン
令和7年度
第2回放送番組審議会 議事録

開催年月日 令和8年2月3日(火) 10:00~11:00
開催場所 上越ケーブルビジョン J-pit 会議室
出席者 委員数5名
審議委員 大森康正委員長、山岸功副委員長、高木桂委員、蔡紋如委員、松本伊代委員
JCV メディアセンター担当取締役・部長 沢田真紀
メディアセンター担当部長 佐藤康司、メディアセンター課長 新野士郎

1 開会

2 挨拶 担当取締役部長 沢田真紀

3 議題

(1) レギュラー番組・特別番組について

(a) 地域まるっと生放送「Jump」

- ・11/4 初回放送
- ・11/5 中継 八千浦作品展
- ・11/17 そろばん対決

(b) 上越市長選挙 上越市議会議員補欠選挙 開票速報

(c) 生中継 妙高市複合施設 まちなか+オープンイベント

(2) その他

(a) 今後の「Jump」について

- ・エリアをピックアップ、週を通して紹介
- ・起業した高校生によるコーナー 若者の挑戦を取り上げる
- ・スタジオ展示作品 広く募集 13区や妙高市にも

4 審議内容

(a) 地域まるっと生放送「Jump」

概要 去年11月からスタートした平日午後4時から45分間の生放送番組。これまでニュースとして放送してきたまちの話題をはじめ、まちづくりに取り組む人や、福祉、スポーツ、芸術などで活躍する人たちを中継やスタジオでのトークを交えて紹介する市民参加型の情報番組。SNSなどの普及で誰でも情報発信ができるなか一方的に放送するスタイルを見直し、みなさんと一緒に作り、見ていただける番組を目指している。また、リビングをイメージした新スタジオは市民の作品を展示するため、あえて飾り気のないシンプルなセットになっている。展示作品には毎月テーマを設けていて、市民の作品を展示することで、変化&進化していけ

るよう目指している。

初回（11/4）放送の主な構成はまちの話題、スタジオ作品紹介&制作者の下鳥さんとのトーク、オープニング曲を担当するミニマムジークの紹介、高田城址公園から中継、Jump ポーズ募集企画など。

中継の八千浦作品展（11/5）では会場の様子や作者の皆さんにお話を聞いた。

そろばん対決（11/17）は特技のそろばんを見てほしいという何気ないきっかけから実現した。そろばん塾に通う小学生3人をスタジオにより、アナウンサーとのそろばん対決を楽しく伝えられたらというチャレンジな企画。

- ①（審議委員） 八千浦の中継では知り合いが出演していた。お互いに交流会（作品展）をやろうかという話にも。ほかに地域でも作品展があるので、（番組の）PRもかねて取り上げてほしい。喜ばれると思う。
- ②（審議委員） 初回ということもありカメラも安定していないように感じた。出演者の話の中で分かりにくいことばはテロップがあった方がよい。全体的に面白く、アナウンサーの表情なども良かった。
- ③（審議委員） そろばん対決はおもしろかった。視聴者も参加できるようすれば、こどもと一緒にチャレンジ出来てよかったと思う。作品展の中継では作品をもっとゆっくり見せてほしい。
- ④（審議委員） 中継で団体の名前など固有名詞などはテロップが欲しい。出演者の声が良く聞こえない場面があったので改善してほしい。
- ⑤（審議委員） 番組コンセプトが非常に良かった。「新たなコミュニティの架け橋に」なってほしい。さまざまな世代の方が出ているので楽しく見ていた。

(b) 上越市長選挙 上越市議会議員補欠選挙 開票速報

概要 去年の秋放送した特別番組。候補者6人というこれまでにない選挙戦になった。JCVは市長選の開票速報に力を入れていることもあり、各陣営から中継しようとスマートフォンなども使いながら6陣営から中継した。さらに開票所の票の読み上げ&積み上げの様子も伝えた。

- ①（審議委員） なかなか市長選の情報（開票速報）は少ないので、インターネットで食い入るように見ていた。6候補もいたことで各陣営からの映像、音質に差がありこの候補が勝つのではと予想ができてしまった。タウン情報はアクセスが集中してなかなか見られなかった。こんなに市長選とむきあったこと、関心を持ったことはなかった。
- ②（審議委員） JCVでは（これからも討論会を）企画しないのか？また放送は？
（事務局） 青年会議所が討論会を全国で取り組んでいる。すべての候補者のスケジュールを何度も抑えるのは難しい、候補所の負担も考えられる。放送については連携できれば、急に決まることが多いのでしっかり告知をしていきたい。
また、告示から投票までの期間に番組の中で候補者紹介をしている。

同じテーマをぶつけ、お答えいただいている。

- ③（審議委員） 当選者を予想して中継に？
 （事務局） テレビ中継ができたのは2陣営。事前の取材内容から判断した。
- ④（審議委員） 選挙の時は JCV が生中継で早くわかるので見ている。大体の人が見ている。わかりやすくいい。

（c）生中継 妙高市複合施設 まちなか+オープンイベント

概要 去年の10月妙高市役所の斜め向かいにオープンした複合施設。図書館のほか、子育て広場や市民が交流する活動スペースなどがある。そのオープニングイベントや館内のようすを職員や来館者のインタビューを交えて生中継した。

- ①（審議委員） ロゴの意味や妙高市の山々の連なりをイメージにした本棚など豆知識が良かった。事前取材などで、もっと全体の空間を撮影した映像があるといい。
- ②（審議委員） 実際に利用してみて思ったのが、施設の利用の仕方、本の借り方があると嬉しい。自動貸し出し機の紹介や、妙高市民以外の利用についてなど、利用者目線があると行こうという気になるのでは。
- ③（審議委員） 生中継のなかで事前の VTR はどれくらい用意しているのか。また使わなかった場合はどうなるのか。
 （事務局） 中継の回線状況や、スケジュール変更の場合を考慮して、事前に編集した VTR を数本用意している。使わなかった VTR は再放送や特番に使うなどし放送している。

（2）その他

（a）今後の「Jump」について

概要 ・今後、1週間を通してエリアをピックアップし、その地域の皆さんの活動をいろいろな角度からの紹介を予定。例えば灯の回廊で活動している方々、名物を取り上げるなどできたら。
 ・高校生の持ち込み企画があり地元で起業している高校生によるコーナーを展開していく予定。若い方に番組を見てもらう、利用してもらう観点と、若い人達の挑戦を取り上げる番組をつくりたいという思いを受けて進めている。
 ・スタジオの展示作品募集について CM や HP、SNS でも呼び掛けているが上越市の作品が中心。妙高市や13区からの応募が少ないため、今後積極的に声をかけていきたい。

- ①（審議委員） 公民館にチラシをおいてはどうか。
 （事務局） スタート時、行政の協力を得て全公民館、妙高市は体育館も置いていた。すでに無いと思うので継続したい。
- ②（審議委員） 妙高市の公式 LINE を使ってはどうか。
 （事務局） 利用できないか確認したい。

- ③（審議委員） 起業した高校生のコーナーは「高校生」限定なのか。大学生は？小中学生の習い事を披露する場がないので、こどもにとってもやりがいを感じるのでは。
- （事務局） テレビ離れをしている中高生に使ってもらいたいという目的もあり、大学生も小学生まで年齢層を幅広く考えたい。
- ④（審議委員） 小学校の校区をピックアップするのはどうか。小学生も張り切るし、その祖父母、親も見るので。知らないところも知れるので面白そう。
- ⑤（審議委員） スタジオ展示の作品は絵画などに限定されるのか。科学館の発明クラブでも作品を作ったり、大学の作品展もこの時期にあるので声をかけてみるのはどうか。
- （事務局） 作品の種類を限定していない。写真でも、立体、陶芸など、毎月テーマを決めてそれに沿ったものをお持ちいただいている。大学も相談したい。
- ⑥（審議委員） 高校の文化祭の後はどうか。エリアのピックアップのほかにテーマで縦断するのはどうか。市内の子ども食堂特集や宿を経営など、コミュニティごとの切り口などはどうか。
- ⑦（審議委員） 情報の投げ込み方が分かりにくい。地域のネタ専用のフォームを作ってはどうか。Jump のページも JCVFAN に QR コードを載せてみては。
- （事務局） 様々な情報が提供されるタウン情報にフォームを踏襲できるよう、検討したい。
- ⑧（審議委員） 視聴者が離れないよう、レスポンスもしっかり行って欲しい。
- （事務局） 複数人で確認して、見落とさないようにしたい。

5. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法

- ①事務所への備え置き
- ②自社ホームページ (<https://www.jcv.co.jp/>) への掲載

6. 閉会